

■合法および非合法ドラッグ20種の依存性スコア

ドラッグ名	依存性スコア平均値	解説
ヘロイン	3.00	
コカイン	2.39	
タバコ	2.21	
Street methadone	2.08	合成麻薬
バルビタール酸塩	2.01	睡眠薬
アルコール	1.93	
ベンゾジアゼピン類	1.83	睡眠薬
アンフェタミン	1.67	合成覚せい剤(ヒロポンと同系統)
ブプレノルフィン	1.64	モルヒネをしのぐ鎮痛作用。オピオイド(レバタン)
ケタミン	1.54	麻薬及び向精神薬取締法に基づく「麻薬」に指定(日本)
マリファナ(大麻)	1.51	
4-MTA	1.30	α -メチル-4-メチルチオフェネチルアミン、脱法ドラッグ
メチルフェニデート	1.25	ADHD治療薬(リタリン)
LSD	1.23	「サイケデリック体験」
GHB	1.19	4-ヒドロキシ酪酸、脱法ドラッグ
エクスタシー	1.13	合成麻薬MDMA
Khat	1.04	アフリカの山間部に生息する常緑樹。麻薬作用あり。
溶剤	1.01	シンナー・有機溶剤
蛋白同化ステロイド	0.88	筋力増強
亜硝酸エステル	0.87	ラッシュ(RUSH)

【出典】Nutt D, et al. Development of a rational scale to assess the harm of drugs of potential misuse. Lancet 369:1047-53,2007.(上記論文・表3に基づいて改題し解説を追加)

このような科学的な研究結果に基づき、国内外の主要な専門機関、行政当局は「タバコは薬物」として明言している。

米国公衆衛生長官

紙巻タバコ等のタバコ製品には依存性がある。

ニコチンは葉タバコに含まれる依存形成性薬物である。

タバコ依存の薬理的・行動学的プロセスはヘロインやコカインなどのドラッグ依存と類似性を持つ。

【出典】1988年米国公衆衛生長官報告「ニコチン依存症」

世界保健機関

ニコチンは依存と離脱症状を特徴とする嗜癖形成性薬物の診断基準に合致する強力な薬物である。

ニコチンには、ヘロインやコカインと同等の嗜癖形成作用がある。

【出典】2010年 Gender, women, and the tobacco epidemic
http://www.who.int/tobacco/publications/gender/en_tfi_gender_women_addiction_nicotine.pdf

精神疾患の診断・統計マニュアル第4版(DSM-IV-TR)

DSM-IVには、ニコチン依存が、麻薬、覚せい剤、アルコール等とともに、「物質使用障害」の категорияに記載されている。

物質使用障害

- アルコール関連障害
- アンフェタミン関連障害
- カフェイン関連障害
- 大麻関連障害
- コカイン関連障害
- 幻覚剤関連障害
- 吸入剤関連障害
- ニコチン関連障害
 - ニコチン使用障害
 - ニコチン依存
 - ニコチン誘発性障害
 - ニコチン離脱
- アヘン類関連障害
- フェンシクリジン関連障害
- 鎮痛剤、催眠剤または抗不安薬関連障害

【出典】http://navi.ndl.go.jp/mokuji_html/000004326569.html

厚生労働省

依存性について

依存とは、ある物をやめようと思っても強い渴望があり、やめられなくなった状態を言います。たばこの成分であるニコチンによるニコチン依存は、国際疾病分類(ICD-10)や精神医学の分野で世界的に使用されている「精神障害者の診断及び統計マニュアル第4版」(DSM-IV)において独立した疾患として扱われており、たばこに依存性があることは確立した科学的知見となっています。

【出典】厚生労働省 喫煙と健康問題について簡単に理解したい方のために(Q&A)
http://www.mhlw.go.jp/topics/tobacco/qa/detail4.html

喫煙習慣の本質はニコチン依存症

- ニコチンの依存性については、これまで身体的依存の有無について議論がなされてきた。
- しかし、1988年に出版されたアメリカ公衆衛生局長官報告では、これまでの調査研究をレビューして、タバコに含まれるニコチンが麻薬やアルコールと同様の依存性薬物であると結論づけている。
- つまり、喫煙習慣の本質はニコチン依存症である。
- ニコチン依存症については国際的に広く認知されており、WHOの国際疾病分類第10版(ICD-10)やアメリカ精神医学会による「精神疾患の分類と診断の手引き、第4版」(DSM-IV)において、診断基準が示されている。
- すなわち、喫煙は治療の対象となる薬物依存症という病気であり、保健医療従事者がその治療を行う必要がある。

【出典】厚生労働省 禁煙支援のためのテキスト教材
http://www.mhlw.go.jp/topics/tobacco/kin-en-sien/manual/01-3-1.html